

新大村StBL Hct1(上)桁 構造一般図

設計条件

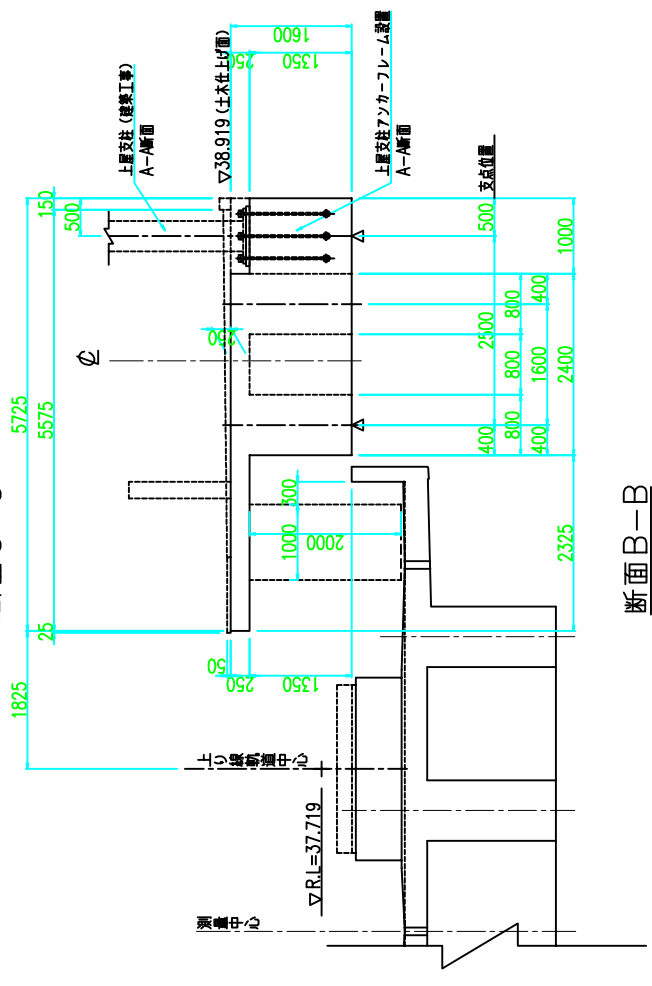
線 名	九州新幹線西九州ルート
構造形式	ホーム桁用RC単純工形 2主桁
橋 長	20m (スパン19.0m)
設計標準、設計速度	-
曲線半径、設計カット	直線
線路幅員配	LEVEL
軌道種別	-
設計耐用期間	100年
構造物の環境条件	一般の環境
温度変化	コンクリート: +20C, -30C
乾燥収縮係数	コンクリート: 200×10^{-6}
かぶり (温暖地)	50mm以上
材料	スラブ・はり 24 N/mm ² 普通 / 高圧 (B) 普通 25 mm 12±2.5cm 4.5±1.5% 55 % / 47 % 175 kg/m ³ スラブ・はり SD345 490 N/mm ² 345 N/mm ²
設計基準強度	コンクリートの強度
セメントの種類	骨材の最大寸法
骨材の種類	スラブの範囲
骨材の最大寸法	空気量の範囲
スラブの範囲	最大セメント比
空気量の範囲	単位重量の上乗率
最大セメント比	材料
単位重量の上乗率	種別
材料	設計引張強度
種別	設計引張降伏強度
設計引張強度	適用設計標準
設計引張降伏強度	コブクリ(H16.6) 積載(H11.10) 積載(H18.2)

施工上の注意事項

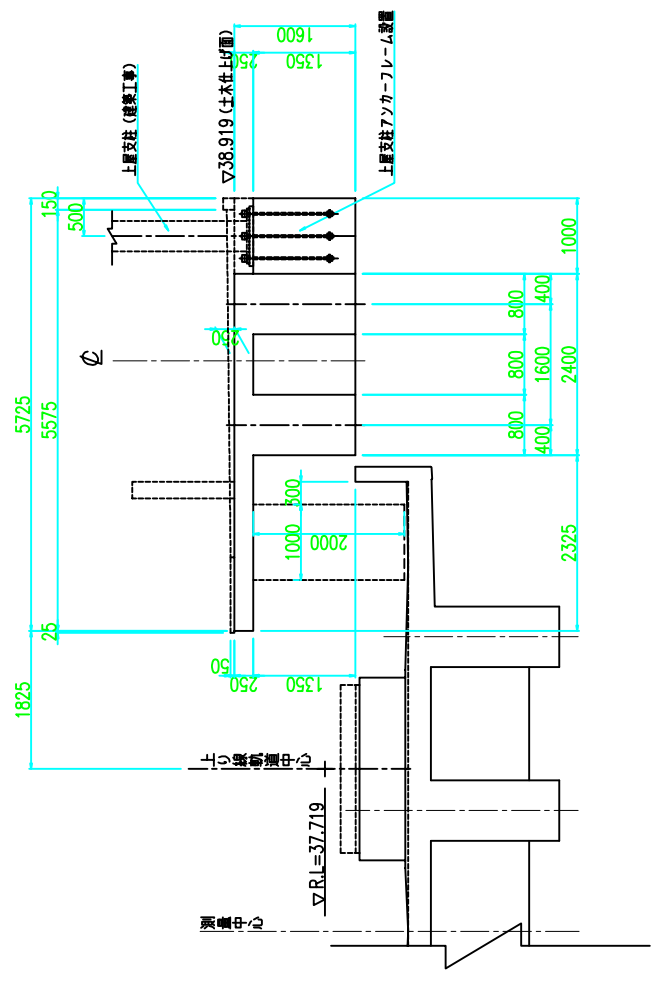
1. バイブレーターは主鉄筋のかぶりの部分に確実に振打ること。
2. 養生は型枠をはずした後も継続し、所定の期間の湿潤養生を行い、ひび割れ防止に努めること。
3. 水切は、引出部下面、上層支持梁側面、下面に設けること。
4. ユーの上面には型枠体を用いることを原則とする。
5. 合流モルタル(強度40N/mm²)は、材質に高じり十分な養生を行うこと。
6. 特殊型枠設置に伴いアンカーボルト、インサート金具等が添えられるため、それらの位置を監督員に確認すること。
7. 型枠用アンカーボルト、インサート金具および埋込法等は、監督員と打合せの上であるが、後述工とならないよう設置すること。
8. 建築・電気設備等については、土木委託図を参照すること。

断面図 S=1/100

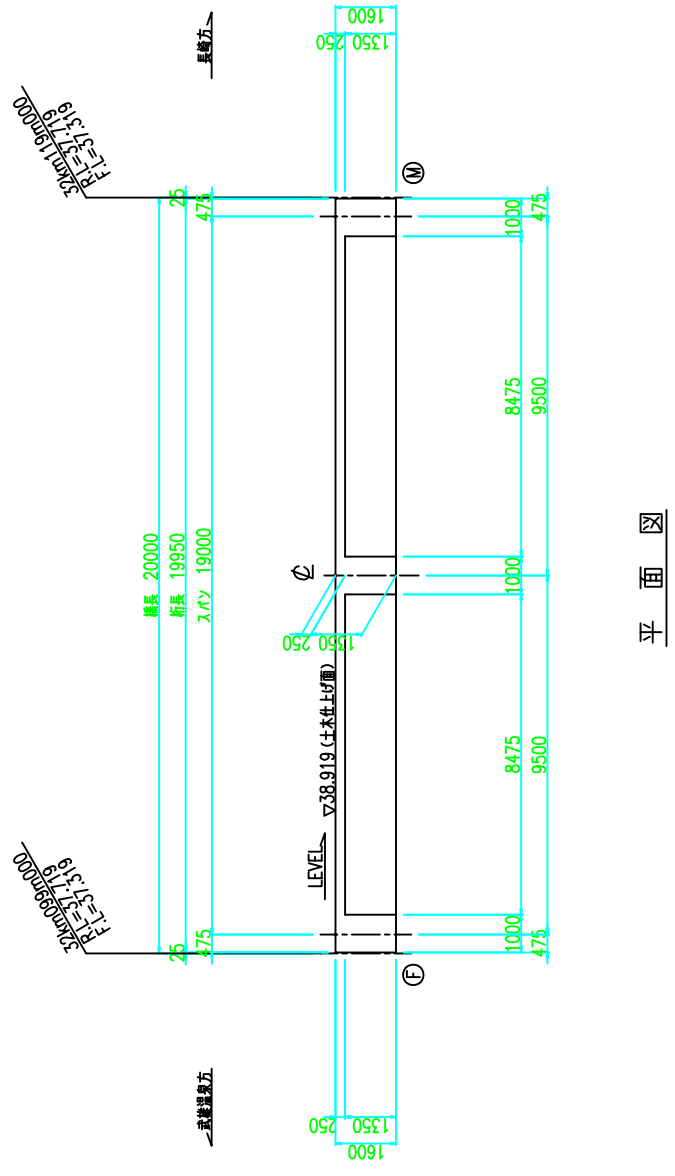
断面A-A (断面C-C)



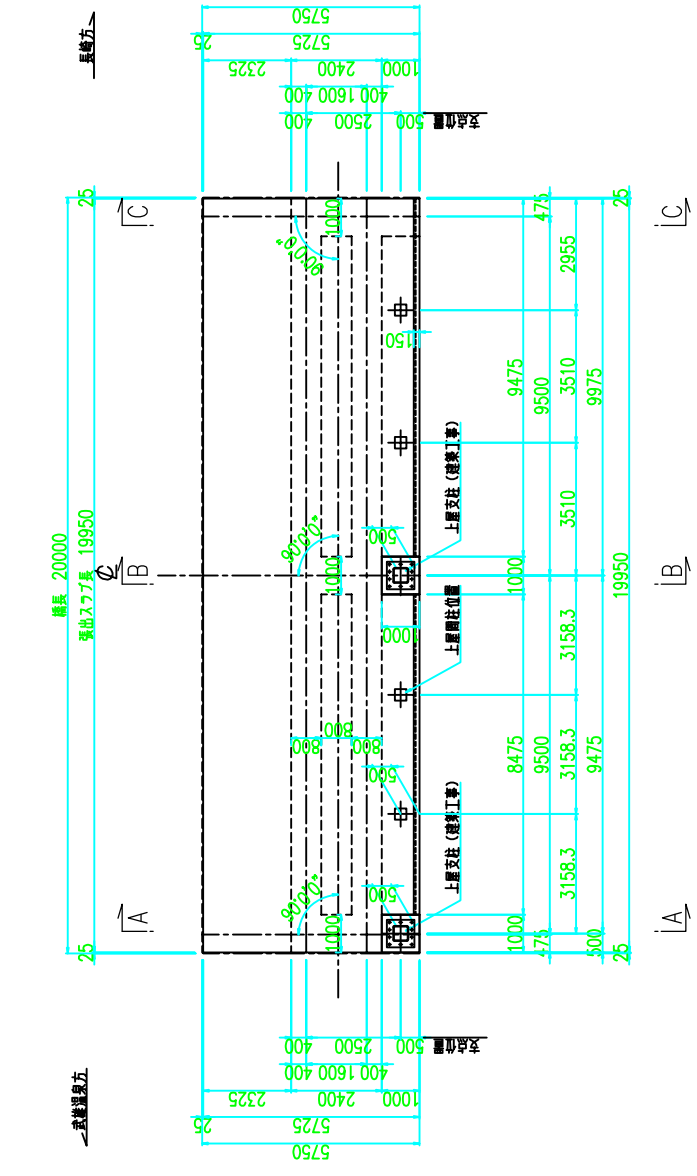
断面B-B



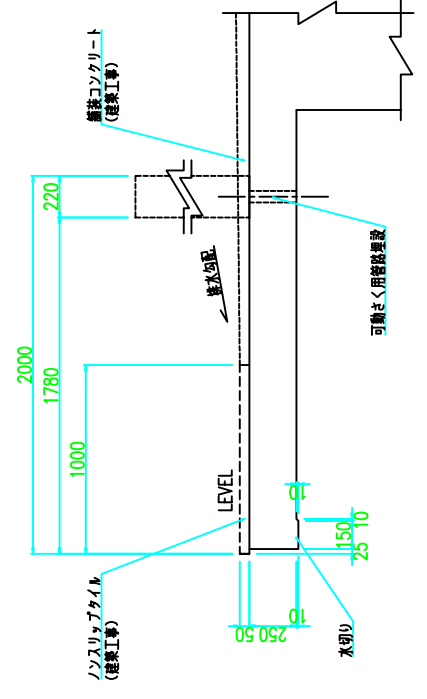
側面図



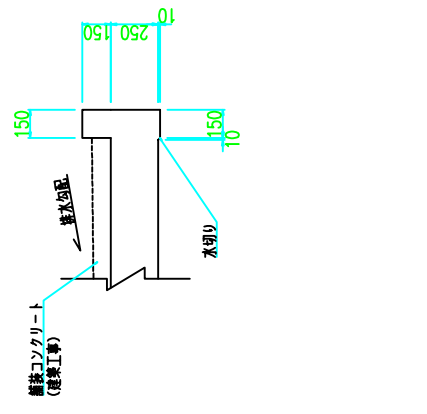
平面図



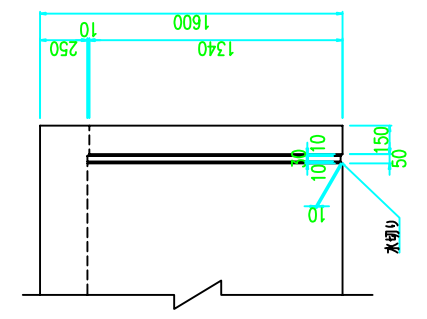
ホーム先端部詳細図 S=1/40



外壁側スラブ先端部詳細図 S=1/40



上屋支持梁部詳細図 S=1/40



設計番号	XR B*352-16002
契約番号	建設2期19号九州新幹線(西九州)新大村駅構内付設
主任	限 査
技術者	技 術 者
主 査	設 計
製 図	製 図
検 査	検 査
設計会社	株式会社 飯塚エンジニアリング
平成 29 年 10 月	

工事件名	
図面名称	新大村StBL Hct1(上)桁 構造一般図
縮 尺	1/200
図面番号	案の内
補 佐	係 長
補 佐	係 長
設 計	設 計
平 成 年 月	平 成 年 月